



浜郷小だより

令和7年9月3日(水)

第8号

伊勢市立 浜郷小学校
校長 東端 伸治

2学期スタート！

長かった夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。夏休み中は、大きな事故や怪我の報告もなく、子どもたちが元気に過ごせたことを大変うれしく思います。まだ夏休みの生活リズムから切り替えられず、心もからだも休みモードのままだという子もいるかもしれませんが、生活リズムを整え、学校でたくさん遊び、たくさん学んでほしいと願っています。

2学期は学校水泳、社会見学、修学旅行、作品展など、様々な行事が予定されています。行事の詳細については、学年だより等で改めてお知らせいたします。

保護者の皆さんは、子どもたちが仲間と協力し、目標に向かって努力する姿を応援してあげてください。また、お子さんの体調管理をお願いいたします。暑かった夏の疲れなどから体調がすぐれない場合は無理をさせず、ご家庭でゆっくり休ませてください。また、登下校時には交通事故に十分注意するよう、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

「災害」に備えて

7月30日、カムチャツカ半島付近を震源とする巨大地震に伴う津波警報が出ました。鳥羽では養殖いかだが流されるなどの被害がありました。浜郷小学校にも避難所として学童や保育所の子どもたち、地域の方々など100名以上の避難がありました。伊勢市は大きな被害はなかったようですが、受け入れる学校側の対応も満足のいく対応ができたのだろうかといくつか反省点もありました。今後、避難所としての対応が円滑にうまくいくよう、市や地域の方々と協議して、いきたいです。

さて、9月1日は「防災の日」でした。地震や津波、台風など災害に対する認識を深めることを目的に1960年に制定されました。「関東大震災」(1923年)の発生日が9月1日であったことと、この日が立春から数えて「二百十日」にあたり、台風の被害を受けやすい厄日とされていたことが設定理由です。また、三重県にも大きな被害をもたらした「伊勢湾台風」が1959年9月に発生したことも、防災の日がこの日に設定された決め手となりました。

現在では8月30日から9月5日までを「防災週間」とし、災害が発生した際に「いかに迅速かつ円滑な避難ができるかどうか」を確認する期間となっています。この機会に是非お家の方でも防災に関してお子さんとはなしをしてください。お子さんにも防災への意識をきちんと伝え、実際に災害が起こった時に家族でとる行動や避難経路、連絡方法、各自の持ち出しグッズの確認もしておきたいですね。

今後の予定

9月 3日(木) 給食開始

身体測定【2年・4B】

稲刈り 【5年】

学校水泳(～10/7) 各学年4回

4日(木) 身体測定【1年・4A・6年】

6日(土) 伊勢市小中学校科学創作展(～9/7)

8日(月) 身体測定【3年・5年】

16日(火) PTA交通指導

19日(金) はまた 【5年】

29日(月) 委員会

10月 3日(金) 社会見学【1～5年】

8日(水) 学校公開日 2・3 限目

31日(金) 11月1日(土) 作品展(体育館)

※この日は授業公開はありません

(10月の予定は、次のとおりで詳しくお伝えします。)



つぶやき

8月は戦後80年ということで戦争についてのテレビ番組が多かったように思います。風化させてはいけないという思いも忘れてはならないですね。番組の中で、ピースサインの話題がありました。今では写真のポーズ「ピースサイン」。私の若い頃は「ブイサイン」と呼んでいたと記憶していますが、いつの間にみんなが「ピース」と呼び始めたのか。戦争が要因だったそうです。ピースサインの由来にはいくつかの説がありますが、1つの説として。

元々は「勝利(Victory)」の頭文字である「V」を表すサインとして広まりました。第二次世界大戦中、ドイツに占領されていたベルギーのレジスタンスが使い始めたのが始まりと言われています。その後、イギリスのチャーチル首相が、第二次世界大戦の勝利を宣言する際にこのVサインを掲げたことで、世界中に広まりました。その後、1960年代のベトナム戦争下では、アメリカのヒッピーたちが反戦運動の象徴としてこのサインを使い始めました。この頃から「ピース(Peace)」の意味合いが強くなり、「ピースサイン」と呼ばれるようになりました。

日本ではあらゆる年代でいろいろなアレンジを加えながらピースサインをして思い出に残しています。ピースサインが争いの場ではなく、平和的な場面で使われることを願うばかりです。